

アメリカ合衆国とイスラエル国による先制軍事攻撃もイランの報復攻撃も即時中止・停戦を求める決議

アメリカ合衆国とイスラエル国は2月28日、イラン・イスラム共和国に対して大規模な先制軍事攻撃を開始した。報道などによると、この攻撃によってイランの最高指導者セイエド・アリー・ハメネイ師が殺害された。また、小学校にいた子どもが160人以上も犠牲になる（3月5日報道）などイラン全土で一般市民を含む死者が発生した。

攻撃を受けたイランは米軍基地のある湾岸諸国に向けて報復攻撃を行い、イスラエルで死者が出たほか、アラブ首長国連邦ではイランからのミサイル攻撃を迎撃した際の破片により死者が発生した。

その後も新たな軍事攻撃と報復攻撃が行われ、被害はさらに増えている。地域の不安定化と大規模な戦争への危険が拡大している。

よって、松伏町議会は、アメリカ合衆国とイスラエル国による先制軍事攻撃もイラン・イスラム共和国の報復攻撃も即時中止・停戦し、外交努力により解決するよう双方に強く求める。

以上、決議する。

令和 8 年 3 月 1 0 日

埼玉県北葛飾郡松伏町議会